

★漢方談義★

「腎」と「膀胱」

太田順康

「肺腎と膀胱が、陰陽・臟腑と関係があるのは容易に理解できると思います。

西洋医学で云う腎臓は血液中の老廃物を濾して小便として排出し、必要なものを血液に戻す役割や、血流を調節して血圧を安定する働きをしていますが、

東洋医学では、この他に「作強の官技巧出ず」と言って「肝」が立てた防衛策を強める役割や精神のうちの精を宿し、志を司どると言われています。

また骨髓の氣を蔵すといって骨髓の働きにも関係しています。

副腎の免疫力に関係する働き。生殖機能も腎の働きです。

素問という最古の医学書には女子7歳にして腎氣盛ん齒替り髪長じ、14歳にして月經があり。

故に子あり…、丈夫（男子）8歳腎氣が充実し、髪長じ、齒替り、16歳にて精氣が溢れ、子を作る事が出来るようになっていいます。また女子は五七三五歳で面囊れ、髪落ち始める、丈夫は五八40歳で腎氣衰え、髪落ち、齒枯れるといい、成長と老化も腎の働きの盛衰によるといっています。

房事（セックス）過多や、力仕事をしたり、極度の恐れや驚き、取り越し苦勞も腎の働きを弱めます。

腎虚（腎の弱り）になると精力減退したり、志＝何かしたいという意欲＝がなくなったり、排尿が上手くいかず漏れたりします。また腰から下は腎の支配領域ですので足腰の弱りや痛みも腎の弱りから起きます。

また腎は骨や骨髓にも関与しています。骨粗しょう症や貧血にも関係があるとうです。

また作強の働きは免疫力の増強と思われます。このように腎は肝と同じように重要な臓器といえます、肝腎要めの臓器です。



すやか教室 山歩き

曜日と時間： 毎週金曜日 10:30～

☆雨のときは、中止します。

☆お茶など飲み物を持参

<1月の予定>

12日(金) 19日(金) 26日(金)

新しい年 2018年。岐阜市は時折雪がちらつくお正月でした。さあ今年も、元気に、笑顔で、おしゃべりしながら、楽しく歩きましょう。毎日ご飯を食べるように、体を動かすこと。坂道・でこぼこ道・かんだり伸ばしたり、全身を使いましょう。

§ 漢方相談日

(担当 太田順康：日本漢方交流会認定漢方終身師範。岐阜県漢方研究会会長。岐阜薬科大学「漢方学」講師)

今月の漢方相談日は、下記のようにです。

11日(木) 15日(月) 29日(月)

§ 1月の休診日

8日(月・祝日)

§ 甲状腺エコー検査を始めました。

ご希望の方は、受付までお申し出ください。

肝と腎が弱ると、「目（肝）は眼鏡、歯（腎）は入れ歯にてと言外に精力減退を嘆くこととなります。

いつまでも元気で現役でいるためには腎を弱らせないことが大切です。

腎虚を治す薬方は、六味丸、八味丸が有名です。江戸時代では強精剤として多用されていたようで、「六味丸焼け石に水をうつような」（柳多留）「地黄丸女房の褒める薬なり」（武玉川）などの川柳が残っています。

食べ物では山芋（八味丸に入っています）午房、などがあります、

志を持つ意味で異性への興味は失わないようにして現役で頑張りましょう。

(つづく)